

# 2021 年度事業報告

2021 年度に実施した事業は次のとおりである。

## I. 事業報告

### 1. 出版事業

#### 1.1 「環境情報科学」の発行

- ・機関誌「環境情報科学」を計 4 回発行し、会員に配布した。
- ・設立 50 周年を記念し、50-4 号ならびに 51-1 号を 50 周年記念特集号として発行した。なお、各号については編集委員会において特集テーマ等を定め、当該分野の研究者等の論考や最新の知見を紹介するとともに、最新の環境政策に関する記事等を掲載した。また、査読付き審査を経て採択となった会員からの投稿による研究論文等 5 編を掲載した。各号の特集テーマや発行時期については以下の通りである。
- ①50 巻 2 号 特集：東日本大震災・福島原発事故から 10 年\_\_大規模災害からの社会再生と環境再生を考える  
連載：＜環境政策の最前線＞福島の環境再生と未来志向の取組 ほか  
その他：一般公開シンポジウム開催報告／CEIS50 周年記念 連載企画 ほか  
(2021 年 7 月 9 日発行, 128pp.)
- ②50 巻 3 号 特集：新たなステージに移行した日本の地層処分政策を考える  
連載：＜環境政策の最前線＞脱炭素により地域課題の解決を目指す\_\_地域脱炭素ロードマップの構想 ほか  
その他：報告 第 21 回環境情報科学センター賞 ほか  
(2021 年 10 月 8 日発行, 118pp.)
- ③50 巻 4 号 特集：50 周年記念特集号（1）\_\_環境科学から見た地域循環共生圏  
連載：＜環境政策の最前線＞環境省五十年史の概要と編さんに向けた思い  
その他：CEIS50 周年記念 連載企画 ほか  
(2021 年 12 月 24 日, 84pp.)
- ④51 巻 1 号 特集：50 周年記念特集号（2）\_\_環境情報科学のこれまでとこれから  
連載：＜環境政策の最前線＞「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」について  
その他：第 18 回環境情報科学ポスターセッション 発表要旨集  
(2022 年 3 月 31 日発行, 132pp.)

#### 1.2 「環境情報科学学術研究論文集」の発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する研究論文 38 編・報告 13 編を掲載した「環境情報科学学術研究論文集 35」（電子版）を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（2021 年 11 月 29 日発行：309pp.）。

#### 1.3 「Journal of Environmental Information Science」の審査・発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する英文の原著論文 4 編・報告 2 編の計 6 編を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol.2020, No.2」を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（2021 年 4 月 30 日発行：57pp.）。
- ・「Journal of Environmental Information Science, Vol.2021, No.1」に投稿された計 14 編の論文の

審査を行い、研究論文 8 編・短報 1 編の計 9 編を採択した。採択論文は電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol.2020, No.2」上に掲載され、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（2021 年 10 月 8 日発行：89pp.）。

- ・「Journal of Environmental Information Science, Vol.2021, No.2」（締切：2021 年 9 月 6 日）への投稿論文を公募し、投稿された計 16 編の論文の審査を行い、原著論文 8 編・短報 1 編・報告 1 編の計 10 編を採択した。

## 2. 表彰事業

### 2.1 環境情報科学センター賞の表彰・報告

- ・第 21 回環境情報科学センター賞は、センター賞選考委員会における慎重な審査・選考を経た後、理事会において最終審議を行い、学術論文賞 2 件・学術論文奨励賞 1 件・特別賞 2 件の計 5 件を受賞者として決定した。また、表彰式および受賞者講演を 2021 年度環境情報科学 研究発表大会（オンライン開催）にて執り行った。

#### ◆学術論文賞

- ・災害時支援型調査による行政の災害対応力と被災者の生活復興力の向上に関する一連の研究  
坪井 聖太郎 氏（公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター）
- ・海洋レクリエーションにおける利用者の認知行動把握に関する一連の研究  
武 正憲 氏（筑波大学 芸術系）

#### ◆学術論文奨励賞

- ・眼差し理論を踏まえた景観評価実践と地域創り課題の改善方策に関する一連の研究  
横関 隆登 氏（長野大学環境ソーリズム学部）

#### ◆特別賞

- ・東京都江戸川区における水とみどりのまちづくり活動—50 年の歩み  
江戸川区
- ・『遊環構造デザイン』にみるこどもの育成環境デザイン領域の研究とその環境創造  
仙田 満 氏（（株）環境デザイン研究所）

- ・第 22 回環境情報科学センター賞の推薦募集を行い、推薦案件について審査・選考を行った。

### 2.2 環境情報科学ポスターセッションにおける優秀ポスターの表彰

2021 年度環境情報科学 研究発表大会において開催された第 18 回環境情報科学ポスターセッションにおいて、計 48 編の研究発表が行われ、学術委員会を中心とする審査委員 8 名が発表内容並びに質疑応答への対応等を総合的に評価した結果、一般の部並びに学生の部において計 9 件の発表を優秀賞として選考し表彰した。

#### 【一般の部】

|        |                                                                               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 理事長賞   | 「自治体 SDGs 政策へ社会情勢変化が与える影響の分析」<br>増原直樹 氏：兵庫県立大学環境人間学部                          |
| 学術委員長賞 | 「木の駅活動の地域性に応じたステークホルダーの環境・社会価値構造」<br>山崎慶太 氏：（株）竹中工務店技術研究所                     |
| 事務局長賞  | 「みどりのまちづくりにおける「暮らしやすさ（Suitability）」の研究：<br>地域循環共生圏の実現に向けて」<br>天野健作 氏：大和大学社会学部 |

#### 【学生の部】

|      |                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 理事長賞 | ①「非住宅建物への太陽光発電導入ポテンシャル分析 —経済産業省・環境省との比較—」<br>廣瀬梨乃 氏：東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|

|        |                                                                                                                                             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | ②「LCC とトータルベネフィットに基づく街路樹の最適更新時期の検討」<br><b>清川梢太氏</b> ：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科                                                                     |
| 学術委員長賞 | ①「リスク共生に向けたベンゼン土壌汚染地の健康リスク比較指標の開発」<br><b>丸田有美氏</b> ：横浜国立大学都市科学部環境リスク共生学科<br>②「AI 技術を利用した霧画像の視程判定モデルの開発」<br><b>西原大貴氏</b> ：岡山理科大学大学院生物地球科学研究科 |
| 事務局長賞  | ①「日英の海洋空間計画における洋上風力発電の位置づけ」<br><b>水野羽奏氏</b> ：東邦大学理学部生命圏環境科学科<br>②「再エネ海域利用法に基づく協議会の現状と課題」<br><b>山本倫輝氏</b> ：東邦大学理学部生命圏環境科学科                   |

### 3. 学術交流事業

注) 講演者等の肩書は開催当時のものを記す

#### 3.1 2021 年度環境情報科学研究発表大会の開催

2021 年度環境情報科学研究発表大会は、昨年に引き続きオンラインにて開催した。本大会では、環境情報科学に関する研究論文発表、環境情報科学ポスターセッションでのポスター発表およびライブ質疑、当センター設立 50 周年を記念した一般公開シンポジウム、環境情報科学センター賞表彰式ならびに受賞者講演、会員から募集した企画セッションが行われた。なお、シンポジウム、企画セッションは一部のプログラムについては一般の参加者も含め参加費無料にて配信した。

なお、一般公開シンポジウムでは、設立 50 周年記念活動の一環として当センターが「地域循環共生圏の推進のための研究に関する提言検討ワーキンググループ」（進行役 小谷幸司 日本大学教授）を立ち上げて取り組んだ、地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進をテーマとした提言案を取り上げた。提言案をより実効性のあるものとするとともに、持続可能な脱炭素社会に向けての取組みの推進を図るため、有識者、実践者、研究者、行政担当者の方々をパネリストとしてお招きし、地域循環共生圏の実現に向けて幅広い視点から議論を行った。

日 程：2021 年 12 月 6 日（月）～12 月 12 日（日）

会 場：オンライン開催（環境情報科学センターHP 内特設ページ）

参加者数：278 名（会員 197 名・非会員 81 名）

内 容：・研究論文発表＜動画配信＞（51 題）

・第 18 回環境情報科学ポスターセッション発表＜動画配信＞およびライブ質疑（48 題）

・第 21 回環境情報科学センター賞 表彰式・受賞者講演

・会員による企画セッション（3 セッション）

・公開シンポジウム「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進 環境情報科学センターの提言」

＜12 月 10 日開催；基調講演・特別講演は事前動画配信＞

後 援：環境省、環境経済・政策学会、環境アセスメント学会、環境福祉学会

出演者：基調講演 大塚 直 氏（環境情報科学センター理事長）

特別講演 中井徳太郎 氏（環境事務次官）

講演 小谷 幸司 氏（環境情報科学センター理事）

モデレーター 村上 暁信 氏（環境情報科学センター常務理事）

パネリスト 藤田 壮 氏（東京大学大学院工学系研究科教授）

井田 徹治 氏（共同通信社編集委員・論説委員）

杉浦 篤史 氏（宇都宮市環境部環境政策課課長補佐）

片桐由紀子 氏（金沢工業大学工学部講師）

岡野 隆宏 氏（環境省自然環境局国立公園利用推進室長）

ディスカッサント 竹内 彩乃 氏（東邦大学理学部講師）

平野勇二郎 氏（国立環境研究所主幹研究員）

#### 3.2 論文執筆支援セミナーの開催

CEIS 論文集に投稿予定の方、論文投稿についてより実践的に学びたい方、論文執筆の基礎を学びたいと考えている方などを対象に、論文執筆支援セミナーを動画配信するとともに、個別の

相談会をオンラインにて行った。

日 時：2月下旬～3月上旬（セミナー動画配信）／3月3・4日（オンライン相談会）

講 師：赤渕芳宏 学術委員：名古屋大学大学院環境学研究科  
有賀健高 学術委員：埼玉大学経済学部  
片野洋平 学術委員：明治大学農学部  
小林 剛 学術委員長：横浜国立大学大学院環境情報研究院  
竹内彩乃 学術委員：東邦大学理学部  
土屋依子 学術委員：目白大学社会学部  
村上暁信 論文審査委員会副委員長：筑波大学システム情報系  
参加者数：47名（内訳 会員13名・非会員34名）

### 3.3 環境サロンの開催

本年度の環境サロンは設立50周年記念活動の一環として提言の作成活動と連携しながら「地域循環共生圏」を中心テーマに据え、先進的な環境政策や特徴的な取組等に焦点を当てた以下の3つの環境サロンを企画・開催した。

1) 第148回環境サロン「地域資源を軸とした地域循環共生圏はスタートできるのか？」

日時：2021年9月17日（金）16:00～17:30（オンライン開催）

講師：大場 真氏 <国立環境研究所 気候変動適応センター 主席研究員>

参加人数：45名（内訳 会員38名・非会員7名）

2) 第149回環境サロン「地域循環共生圏の構築に向けた環境アセスメントの展開～再生可能エネルギーが地域と共生するために～」

日時：2021年11月8日（月）16:00～18:00（オンライン開催）

講師：錦澤 滋雄氏 <東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授>

参加人数：37名（内訳 会員35名・非会員2名）

3) 第150回環境サロン「地域循環共生圏構築のための地域経済循環分析」

日時：2021年11月22日（月）16:00～17:30（オンライン開催）

講師：山崎 清氏 <株式会社価値総合研究所 執行役員・主席研究員>

参加人数：32名（内訳 会員26名・非会員6名）

## 4. 学術活動の活性化

- ・50周年記念事業の一環として、地域循環共生圏の推進をテーマに、CEIS 会員や環境分野の研究者、環境研究支援機関や自治体関係者等に対する提言として「地域循環共生圏の推進のための研究に関する提言検討ワーキンググループ」（進行役 小谷幸司 日本大学教授）がとりまとめ、「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進 CEIS の提言」として3月4日に当センターホームページ上に公表した。
- ・当センターの学術活動の場における議論や交流の活性化のため、環境情報科学研究発表大会を開催し、環境情報科学に関する多様な研究分野の論文発表、ポスターセッション、企画セッションや公開シンポジウム等を開催した。

## 5. 調査研究事業

2021年度は主に下記の調査研究等を受託し、実施した。

| 発注先 | 件 名                            |
|-----|--------------------------------|
| 環境省 | 化学物質アドバイザー派遣事業運営業務             |
| 環境省 | エコチル調査に関する企画評価等実施業務            |
| 環境省 | 暑熱環境に対する適応策調査業務                |
| 環境省 | 化学物質情報検索支援のための情報収集・整理及び課題検討等業務 |

|              |                                                           |
|--------------|-----------------------------------------------------------|
| 環境省          | 環境保健サーベイランス調査に係る集計（3歳児）、並びに解析及び環境評価（3歳児及び6歳児）に関する委託業務     |
| 環境省          | 化学物質ファクトシートの更新及び作成にかかる調査検討業務                              |
| 環境省          | 石綿健康被害救済制度に関する海外動向等調査業務                                   |
| 経済産業省        | 化学物質安全対策（すそ切り以下事業者排出量推計手法、オゾン層破壊物質及び低含有率物質の排出量推計手法に関する調査） |
| 国土交通省        | 下水道における化学物質排出量の把握及び化学物質管理計画の策定推進等に関する調査業務                 |
| 東京都          | 臨海副都心駅前広場暑熱対応設備実証実験委託                                     |
| 川崎市          | 公害防止調査研究業務委託                                              |
| 川崎市          | 環境技術・国際連携プロジェクト支援業務委託                                     |
| 国立環境研究所      | エコチル調査における成果発表に係る調査・検討業務                                  |
| 国立環境研究所      | 中心仮説解析計画検討ワークショップ運営補助業務                                   |
| 国立環境研究所      | エコチル調査既存情報の共有方法に係る調査検討業務                                  |
| 国立環境研究所      | 有害化学物質の環境放出事故事例調査業務                                       |
| 国立環境研究所      | 地域循環共生圏構築に係る諸団体の活動の構造化及び分析業務                              |
| 国立環境研究所      | 民生部門・運輸部門CO2排出推計データの検証業務                                  |
| 国立成育医療研究センター | エコチル調査に関するアウトカム測定方法等の検討支援業務                               |
| 環境再生保全機構     | 地方公共団体が実施するソフト3事業のアンケート集計及び分析等業務                          |
| 環境再生保全機構     | ぜん息電話相談のデータ解析及びFAQの作成支援業務                                 |
| 環境再生保全機構     | 大気環境の改善に向けた施策に関する調査研究                                     |
| 東京都環境公社      | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における暑さ対策の効果検証業務委託                 |
| 教育機関         | 市内熱環境測定                                                   |
| 民間企業         | 法令コンテンツ作成作業                                               |
| 民間企業         | グリーン調達データベース作成等支援業務・環境マネジメントシステム運用支援業務                    |
| 民間企業         | 容器包装リサイクル法に基づく市町村ごとの令和元年度分別収集量等集計業務                       |
| 民間企業         | 地域熱中症リスク管理に向けたプラットフォームの検討事業支援業務                           |
| 民間企業         | 製品含有化学物質管理業務                                              |
| 民間企業         | Webコンテンツ作成業務等                                             |
| 民間企業         | 温度測定試験                                                    |
| 民間企業         | 暑さ対策における計測支援業務                                            |
| 民間企業         | 光化学オキシダント等に係る海外最新動向等調査業務                                  |
| 民間企業         | 化学物質に関するリスクコミュニケーションやリテラシー向上に向けた調査検討業務                    |

## 6. その他

### 6.1 長期ビジョンの検討について

- ・50周年記念事業による提言等を踏まえて、CEIS 長期ビジョンの検討、中期計画の見直しのため、特別委員会の設置等の体制作りを行った。

### 6.2 運営基盤・広報体制の強化

- ・事務局の人材育成に向けた教育体制を図り、個人情報等のセキュリティ体制の遵守等を通じて、組織のガバナンスを強化した。
- ・公開シンポジウムやセミナーの開催、提言の公開等を通じ、当センターの活動の普及を進めるとともに、新会員の確保に努めた。

### 6.3 他団体主催事業への後援等

以下の行事について後援・協賛した。

- ・第7回全国高校生環境スピーチコンテスト～コロナ禍のもとで考える～  
主 催：千葉商科大学  
開催日：2021年11月1日(月)～26日(金)  
場 所：オンライン開催
- ・日本リスク学会第34回年次大会  
テーマ：Risicare～勇気をもって試みる～混迷の時代に生きるための基盤  
開催日：2021年11月20日(土)～21日(日)  
場 所：オンライン開催
- ・令和3年度 第25回多摩市身のまわりの環境地図作品展  
場 所：オンライン開催  
多摩市立南鶴牧小学校2年 尾山 颯さんの作品『こんにちは とりさんたち』に当センター理事長賞を授与した。
- ・Ecosystem services partnership Asian conference  
テーマ：Eco-health and ecosystem services in Asia: Bottom-up aspects for planetary health  
主 催：Ecosystem services partnership  
開催日：2021年12月14～17日  
場 所：オンライン開催

## II. 会員の増減

2021年度末における会員状況は次の通りである。

| ※準→正, 正→シニア |              |          |                  |           |             |                     |
|-------------|--------------|----------|------------------|-----------|-------------|---------------------|
| 会員<br>区分    | 前年度末<br>(口数) | 入会<br>者数 | 退会<br>者数<br>(口数) | 転格<br>者数※ | 年間増減数       | 2021<br>年度末<br>(口数) |
| 正会員         | 782          | 55       | 71               | -6        | ▲ 22        | 760                 |
| シニア会員       | 27           | -        | 4                | 10        | 6           | 33                  |
| 名誉会員        | 2            |          |                  |           | 0           | 2                   |
| 準会員         | 77           | 53       | 28               | -4        | 21          | 98                  |
| 賛助会員        | 25<br>(25)   | 0        | 2<br>(2)         |           | ▲ 2<br><-2> | 23<br><23>          |
| 購読会員        | 63<br>(65)   | 0        | 4<br>(4)         |           | ▲ 4<br><-4> | 59<br><61>          |
| 計           | 976          | 108      | 109              | 0         | ▲ 1         | 975                 |

## III. 総会・理事会・各委員会の開催

2021年度における総会・理事会・各委員会等の開催は次のとおりである。

### 1. 社員総会の開催

開催日：2021年6月14日(月) 15:00～16:15  
会 場：環境情報科学センター 会議室  
議 題：第1号議案 2020年度事業報告  
第2号議案 2020年度決算報告  
第3号議案 2021年度事業計画(案)

第4号議案 2021年度予算計画(案)

第5号議案 役員の改選について

出席会員(委任状を含む): 432人

## 2. 理事会の開催

- ①開催日: 2021年5月17日(月) 18:00~20:15  
会 場: オンライン 出席理事 16名・出席監事 2名
- ②開催日: 2021年6月14日(月) 17:00~17:40  
会 場: オンライン 出席理事 15名・出席監事 2名
- ③開催日: 2021年8月12日(木) 17:00~19:15  
会 場: オンライン 出席理事 15名・出席監事 1名
- ④開催日: 2022年2月18日(金) 17:00~19:00  
会 場: オンライン 出席理事 16名・出席監事 2名
- ⑤開催日: 2022年3月31日(木) 17:00~19:15  
会 場: オンライン 出席理事 16名・出席監事 2名

## 3. 審議員会議の開催

開催日: 2021年5月17日(月) 16:00~17:00  
会 場: オンライン 出席審議員: 11名

## 4. 委員会等の開催

- (1) 総務委員会 (2021年5月10日・8月12日・2022年3月30日)  
地域循環共生圏の推進のための研究に関する提言検討ワーキンググループ  
(2021年4月19日・6月4日・7月2日・9月10日・11月8日・2022年1月20日)
- (2) 編集委員会 (2021年5月28日・8月25日・12月13日・2022年3月11日)
- (3) 英文誌刊行等委員会 (2021年6月11日・10月6日・12月20日)
- (4) 学術委員会 (2021年7月15日・9月2日・11月25日・12月23日)
- (5) 論文審査委員会 (2021年6月28日・8月23日・10月11日)
- (6) 環境情報科学センター賞選考委員会 (2022年1月28日・2月26日)
- (7) 行事委員会 (2021年8月16日)

<オンライン開催>